

自治体職員の内部管理事務の包括的な情報化を実現する 統合内部情報システム

GPRIME統合基盤（決裁基盤）上に財務会計、庶務事務、文書管理、人事給与システムが構成され、自治体職員の内部管理事務の包括的な情報化を実現するためのシステムです。

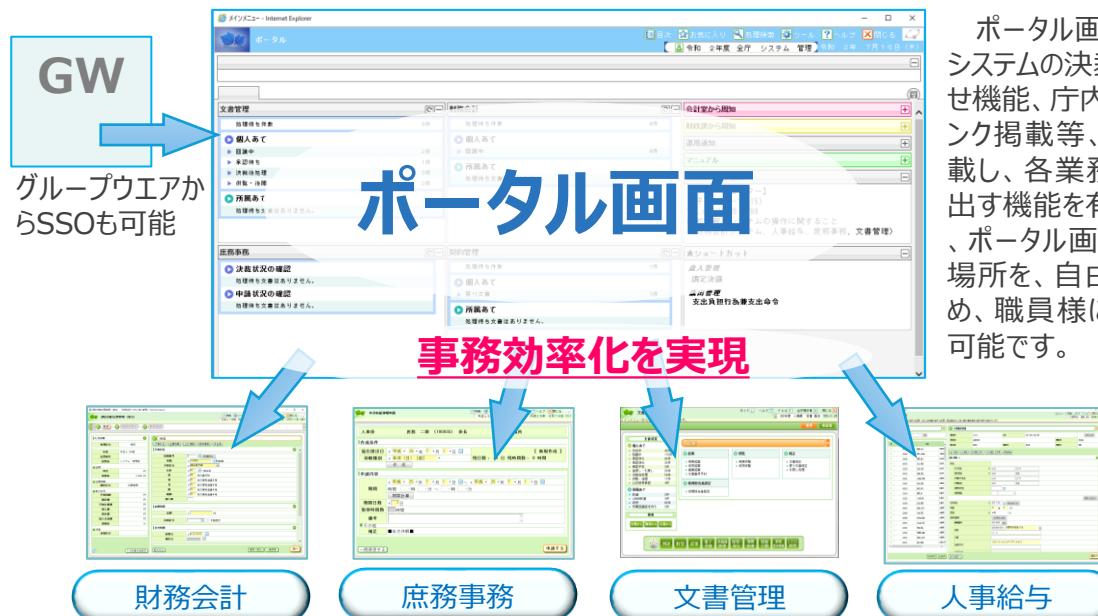
統合内部情報システムの全体イメージ



GPRIME統合内部情報システムは、同一メーカーで設計されたパッケージシステムであるため、複数メーカーで組み合わせたシステム連携では実現が困難な、業務システム間のデータの整合性を担保し、シームレスなデータ連携を行い、操作性に優れたパッケージシステムです。

すべての行政事務をポータル画面へ集約

ポータル画面から各業務システムを呼び出す機能を有しており、事務効率化を実現します。



ポータル画面には、各業務システムの決裁情報や、お知らせ機能、庁内サイトのURLのリンク掲載等、多くの情報を掲載し、各業務システムを呼び出す機能を有しています。また、ポータル画面内に表示する場所を、自由に配置できるため、職員様によりカスタマイズ可能です。

承認者・決裁者に便利なポップアップお知らせ機能

承認待ちや差戻しなどが発生した文書の情報を、デスクトップ上にポップアップ通知する機能を有しています。承認者、決裁者はポップアップ通知により、いち早く文書の存在に気づくことができるため、文書が滞留することなく円滑に電子決裁を行うことができます。

デスクトップ用の決裁通知ツール

システムを利用していない状態でもクリック1つで対象の一覧画面を表示

通知確認

クリック

スピーディーな決裁事務を実現

システムにログインしていないときでも通知は表示され、ポップアップ通知の文書状態または件名をクリックすると該当処理の一覧画面が立ち上がります。緊急性の高い決裁にも迅速に対応する手助けとなります。例えば、承認待ちの通知をクリックすれば承認待ち文書の一覧画面が表示され、そのまま承認行為が行なえます。

電子決裁基盤

今までも・これからも円滑な決裁事務を行うために必要な機能を実装しています。

電子決裁で決裁事務を運用することで、押印等の決裁行為を行わず、非接触で迅速な決裁を実現します。通常処理である承認・決裁だけでなく、決裁途中での差戻し、引戻し等も行うことができます。紙運用に近いかたちで決裁業務を行うことができます。

決裁の状況は、起案者がシステム上からリアルタイムで確認できるため、決裁スピードを向上させることができます。電子審査を含む電子決裁基盤を利用することにより、完全なペーパーレス運用が実現できます。また、完全なペーパーレス運用により紙運用で発生している事務手続きにかかる職員様負担を軽減します。

